

AI時代を生きる AIコンサルタントのすすめ

～専門性の高い知識と経験はAIでカバーできるの時代～

[@watabin](#) ← YouTubeチャンネル登録をお願いします。

オープニング（講師が登壇したらやる事は）

- 自己紹介（なぜAI講師になったか）
- 今日のゴール
 1. コンサルタントの仕事内容を知る
 2. AIで必要な知識を代替する方法を知る
- 参加者の力量を確認（コンサル経験者は？AIを使っている人？）

コンサルタントとは何？

コンサルタントの役割と仕事内容を知る

◆コンサルタントの基本的な役割

- **問題解決の専門家** ← **問題解決はAIの得意分野**
企業や個人が抱えている課題（売上が伸びない、人材が定着しない、業務効率が悪い…など）を整理し、解決策を提案・実行支援します。
- **第三者視点のアドバイザー** ← **ここは各自の個性です**
客観的な立場から分析するので、内部の人では気づけない改善点を示せます。
- **知識と経験の提供者** ← **ここAIで補填できます**
過去の事例や専門的な知見を活かして、クライアントにノウハウを提供します。

◆ 仕事内容の流れ(一般的なコンサルティング)

1. ヒアリング

クライアントの状況を深く聞き出し、課題を把握。

2. 分析

データや現場を調査し、問題の本質を見極める。

3. 提案

改善のための戦略や具体策を提示。

4. 実行支援

提案を形にできるように伴走（プロジェクト管理や教育を含む）。

5. 評価・改善

成果を測定し、必要に応じて再調整。

◆コンサルタントの種類

- 経営コンサルタント：経営戦略や組織づくり
- ITコンサルタント：システム導入やデジタル活用
- 人事コンサルタント：採用、育成、評価制度
- 財務コンサルタント：資金繰りや投資戦略
- 業務改善コンサルタント：AI導入や業務効率化

など、分野ごとに専門性があります。

AI時代はこの”専門性“をAIの知識量と擬似経験で業務経験ゼロからでも補い対応可能にします。

◆ 求められるスキル

- **論理的思考力**（問題を分解して考える力）
- **コミュニケーション力**（クライアントから本音を引き出す力）
- **分析力**（数字や事実をもとに判断する力）
- **提案力**（納得感のある解決策を提示できる力）

などの必要スキルがあります。

AI時代は足りないスキルをAIでサポートできます。

（コミュ力はアンケートやWeb入力など対面以外もあります）

では AIコンサルタント とは？

現状、AIについて教育する処から始まります

AIコンサルタント 最初のお仕事

日本人のAI使用率（ChatGPTなど）は

2024年10月時点で 9%（約1割） ※インドでは7割

2025年7月時点で 27%（3割弱） ※一番多い数字を拾いました
とまだまだ低い状況です。

この為、AI絡みのコンサルティングを始める場合は**AIの導入教育**
から先ず始める事になります。

ゆえに「**AI講師**」を一度経験してからAIコンサルタントを始めて
ください。AIについて教える場面がとにかく多いです。

※ここに来ている人は講師役は経験済みと思いますが念の為

AIコンサルタントは

まずは

- AIについて教える人

次いで

- AIの便利さを教える人

最後は

- コンサルタント業にAIを活かす人

となります。

※そしてAIのサポートがあるので対応出来る範囲が広い！
先に紹介したコンサルタントの種類5種は全て可能。

AIコンサルタント入門編

ここから本題『AIとコンサルティングの融合』です

① オープニング

皆さん、本日はお集まりいただきありがとうございます。

本日のテーマは
『AIとコンサルティングの融合』
です。

AIは単なる効率化ツールではなく、**問題解決のパートナー**として活用
できます。

今日は、コンサルタントの仕事の流れに沿って、AIをどう使えるかを
具体的に見ていきましょう。」


② コンサルタントの役割とは？

- コンサルタントは
「課題を見つけ、解決策を提案し、成果を出す」 専門家。
- 仕事内容は大きく5つの流れに分けられます。
 - ヒアリング
 - 分析
 - 提案
 - 実行支援
 - 評価・改善

では、AIはこの流れの中でどんな役割を果たせるのでしょうか？


③ 1. ヒアリング × AI

- 会議録を自動で文字起こし & 要約
- 顧客アンケートやSNS投稿を感情分析
- チャットボットで事前ヒアリング

 **効果**：情報収集の手間が減り、課題の本質に早くたどり着けます。


④ 2. 分析 × AI

- 売上や財務データの異常検知
- 市場動向やトレンドを自動収集
- テキストマイニングで大量資料を整理

 **効果**：人が気づけないパターンをAIが見つけ、根拠ある分析が可能に。

⑤ 3. 提案 × AI

- 複数の戦略シナリオをAIが自動生成
- プレゼン資料のドラフトを作成
- 過去事例の検索 & 要約

 **効果**：スピーディに提案がまとまり、提案の幅も広がります。


⑥ 4. 実行支援 × AI

- プロジェクト管理ツールで進捗を自動チェック
- ルーチン業務はRPA + AIで自動化
- 教育・研修をAIトレーナーがサポート

 **効果**：実行段階の「人手不足」や「教育コスト」を補える。

⑦ 5. 評価・改善 × AI

- KPIや売上をリアルタイムでダッシュボード化
- 顧客フィードバックを自動集計
- 次の改善策を予測AIが提示

 **効果**：成果を数字で見える化し、改善のスピードを加速できる。

⑧ まとめ

- AIはコンサルタントの全工程を支援
 - ヒアリング → 時間短縮
 - 分析 → 深い洞察
 - 提案 → 幅広い選択肢
 - 実行 → 効率化
 - 評価・改善 → 高速化
- AIは **コンサルタントの右腕**

⑨ クロージング

- AIを使うこと自体が目的ではない
- 目的は **クライアントの成果最大化**
- AIを自在に活かせるコンサルタントこそ価値を生み出す

👉 第一歩を踏み出し、実践してみましよう！

ご清聴
ありがとうございました。

2025年8月27日

わたびん

一旦ここまで、まだ続きがあります。

付録

コンサルタントも自動化を求められるので

効率改善の 最終形態は自動化

キーワードはAIチャットボットとAIエージェント

AIによる自動化

人が行う作業の効率化を突き詰めていくと最後は人が居なくても同じ結果が得られる。つまり完全自動化に行き着きます。

これまでは高度なプログラミング知識が必須でしたがAIの登場でノーコード（プログラミング不要）が可能になっています。

■営業窓口・問合せ窓口→AIチャットボット

■定型的な事務作業→AIエージェント

AI時代のコンサルやマーケターはこの手の対応・制作もクライアントから求められる事になると思います。テスト的に一度くらい作成経験はして置いた方が良いでしょう。

ただ身構える必要は無く“AIに作り方教えて”と問えば何とかできます。

チャットボット

AIチャットボットとは、「人工知能（AI）」を使って、人間と自然な会話ができるように設計された**自動応答プログラム**のことです。

どんな仕組み？

- **自然言語処理（NLP）**：人間の言葉を理解する技術
- **機械学習**：会話パターンを学習して、より賢くなる
- **知識ベースやAPI連携**：データやサービスとつながって回答を生成

ノーコードでの作り方

- **LINEやInstagram連携**：「ChatGPT API × LINE Bot」など
- **ツール例**：
 - ChatGPT / GPTs（カスタムGPT）
 - LINE公式アカウント + Dialogflow

AIエージェント

AIエージェント (AI Agent) は、
「**目的を持ち、自律的に行動してタスクを実行するAI**」 のことです。

AIそのものは「**知能を持つ技術**」ですが、AIエージェントは「**タスク実行の主体**」になります。

AIエージェントの構成例 → **Dify + n8n + Slack**

- **Dify** → AI脳みそ (質問解釈・自然文応答・知識ベース)
- **n8n** → 自動化の司令塔 (外部サービス連携・ワークフロー制御)
- **Slack** → ユーザーとの窓口 (指示・返答)

👉 この3つを組み合わせると「**社内の万能AI秘書**」が実現できます。

※この技術の発展とても早いので流行りはAIで確認してください

最後までご清聴
ありがとうございました。

2025年8月27日

わたびん

[@watabin](#) ← YouTubeチャンネル登録をお願いします。